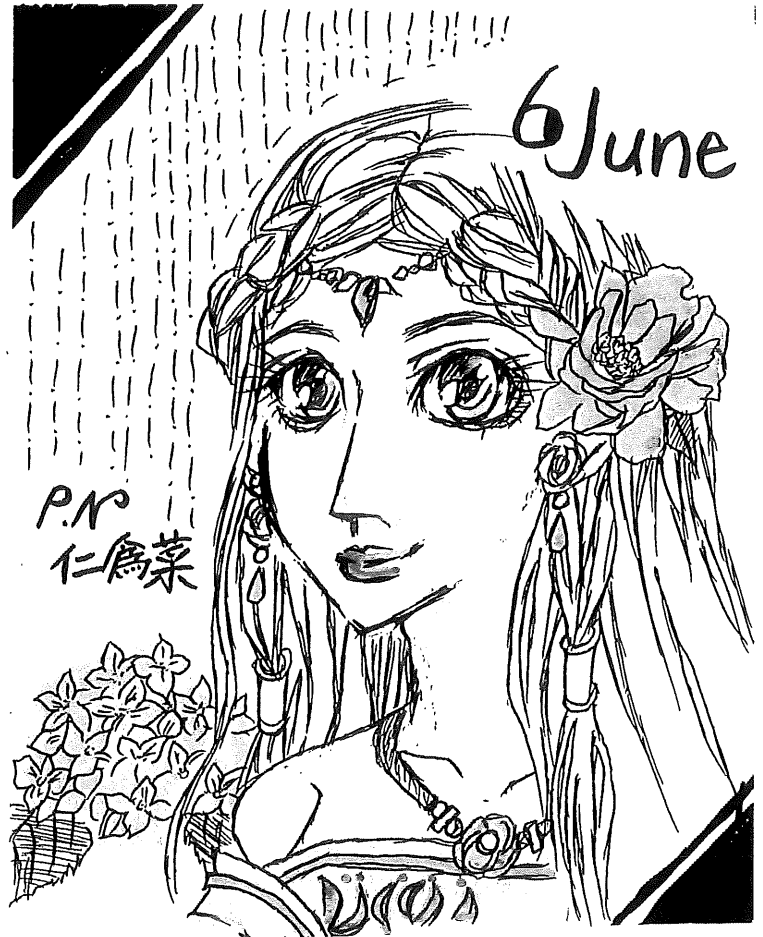
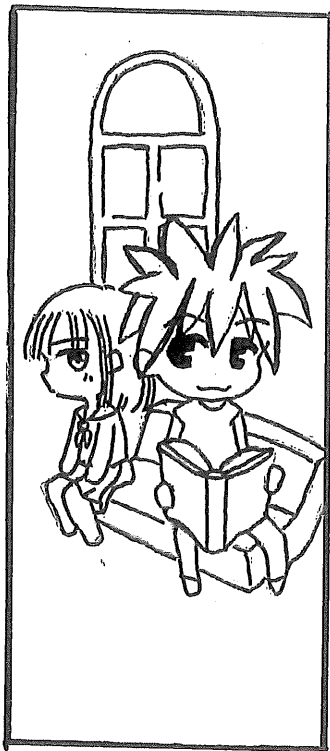


# 旅立ち

社会福祉法人しらとり会  
当事者通信 (NO. 93)  
令和 5 (2023) 年 6 月 1 日発行

今月は、5 名の方からの投稿です。



## 「John Lennon の悲劇とその後のビートルズ個々のメンバー (その2)」

マネージャーのブライアン・エプスタインが亡くなってから、Paul McCartney が中心となり、『サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド』を作った。34 分位のアルバムであるが、『サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド』はロック史に燦然と輝くアルバムである。本当はこの後ぐらいで、John は、オノ・ヨーコと出逢い、ビートルズを辞めたかったのである。

(Y.Y.)



- できない者がどれだけ偉いのか？
- できる者ができない者の犠牲になって働いて食わしてくれているのに感謝するどころか大文句たれて社会に権利を主張する。
- 少子高齢化で社会保障費が更に膨張して財源確保の為税金が上げられ、多くの障害者は非課税の為実質上税負担はなくその為できる者が障害者の税負担を負担させられる。
- よってできない者の為に自分達が苦しい生活を強いられてできる者ができない者を理解しろと言うのは無理である。
- できる者が全員失業してできない者に養ってもらおう。
- できない者の存在は国の滅亡。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。  
次回の締切は、6月15日(木)です。